

放送大学 ライブラリー講演会

幕末水戸藩を 襲った感染症

幕末の水戸藩をパンデミックが襲いました。はしかとコレラが同時に大流行したのです。江戸時代の人びとは、目に見えない脅威にどのように対処したのでしょうか。そして、流行り病は、当時の人びとのくらしや考え方にどのような影響を与えたのでしょうか。感染症との戦いの歴史を通して、幕末社会の特徴についてお話しします。

講師 **添田 仁** (Soeda Hitoshi)
茨城大学人文社会科学部 教授

1976年、広島県生まれ。神戸大学大学院文化学研究科（博士課程）修了。2013年、茨城大学人文学部（当時）に着任。専門は日本近世史。主に港市・鉾山町などの都市社会史の研究を進めてきたが、近年は水戸藩研究の面白さにはまりつつある。茨城史料ネットワーク事務局長として、自然災害などで被災した歴史資料の修理・保存にも取り組む。博士（学術）。

【主な著書】

『長崎 東西文化交渉史の舞台』（共著、勉誠出版、2013年）
『維新の時代を生きた人々と笠間』（共著、笠間市教育委員会、2020年）
『地域文化の可能性』（共著、勉誠出版、2022年）
『小津久足の文事と徳川光圀』（『五浦論叢』29、2022年） 等。



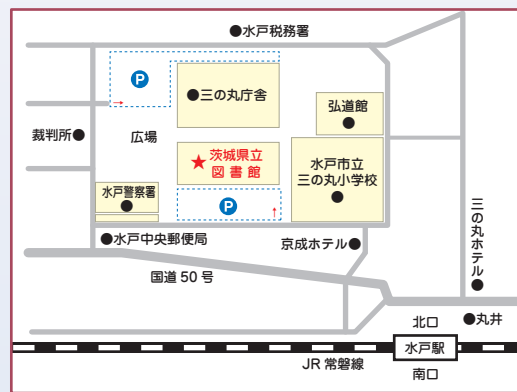
2024

5.18(土) 14:00 ~ 16:00

茨城県立図書館 2F 視聴覚ホール

- 事前の申し込みは必要ありません。どなたでもご自由にお聞きいただけます。(ただし先着160名)
- できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- お車の場合は、三の丸庁舎(旧県庁舎)駐車場をご利用ください。

入場無料



〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1丁目5番地38号

主催:放送大学茨城学習センター
茨城県立図書館

お問い合わせ

放送大学茨城学習センター
TEL:029-228-0683
〒310-0056 水戸市文京2-1-1 (茨城大学構内)

